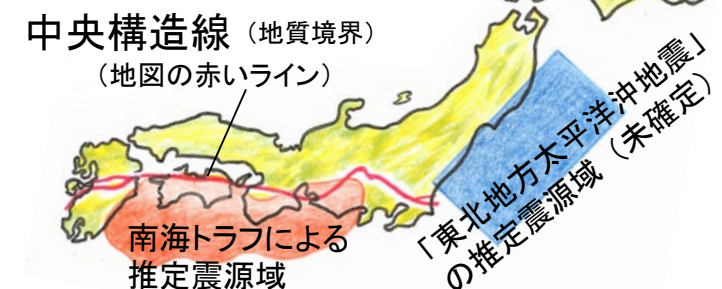


地震が来るのに 再稼働して いいの？ 伊方原発 必要なの？





避難計画の現実とは？

逃げられる？半島の原発西側5000人、30km圏に1.3万人



屋内退避指示

避難指示



(原子力規制委員会資料より)

木造家屋だと25%ほどしか被ばくを防げない。鉄筋でも50%ほどだ。

- ①国は汚染の予測せず
国は避難について、モニタリングポストのデータで判断する。しかし、放射能がきてからでは「遅すぎる」と、全国知事会は予測ソフト(SPEED)の活用を求めた。国は活用を容認したが、あくまで自治体まかせ。県市町村は戸惑っている。
- ②「避難指示」までに被ばく
重大事故発生で5km圏内(PAZ地域)は避難開始。5km〜30km圏内は屋内退避。毎時20マイクログロシーベルトを超えると「1週間以内に避難」、500マイクログロシーベルトを超えると「速やかに避難」となる。毎時20マイクログロシーベルトは約2日で、「公衆の年間被ばく限度」の1ミリシーベルトに。毎時500マイクログロシーベルトは2時間で1ミリシーベルトに達する！



避難先も汚染の脅威

「5km圏内」の人たちは松前町の広域避難所へ。原発からの距離は飯館村北部より少し遠い程度。(大分県へ向かうケースもある)

「5〜30km圏」の人たちは、屋内退避後松山市や東予の各市、宇和島市や南予の各市町へ避難。さらに・・・

帰れる？

避難所



避難退域時検査(スクリーニング)

放射能測定も、除染も困難山積み。



原発から30km

物流ストップ



バスが迎えに来ない！

四国南西部はトンネルだらけ

トンネル崩落で通行止め！

断水



電話が繋がらない！

停電



大渋滞

鉄塔が次々倒れ、広域長期停電

福島で事故対応に不可欠だった「免震重要棟」だが、これなしで再稼働させようとしている！

事故時の東京電力 清水社長



伊方は免震棟の耐震性が足りず、緊急時対策所も狭すぎ

福島県が事故当時18歳未満の子どもたち38万人の甲状腺検査に関して発表。167人が、がん確定または疑いとされた。手術した117人中、良性は1人のみ。
(2016年2月15日 福島県の発表より)

なぜ事前に配布しないの？



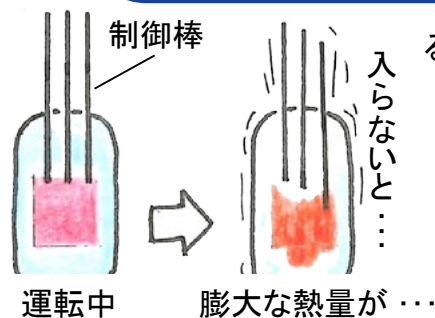
安定ヨウ素剤間に合わず
子どもたちに甲状腺ガン多発

1号機廃炉の次は？

四国電力は今年の3月、1号機の廃炉を発表。廃炉期間30年、費用は397億円。すでに360億円積み立てているが、会計制度が昨年変わり、廃炉決定は容易になった。



制御棒入るのか



伊方原発なしでも電力供給に心配なし

伊方原発が止
まっても4年以上
だね。予備率は
3%を十分超え
ている。

今年の夏、
猛暑でも予備率
5.8%。平年
並で9.6%と
四電が発表。

いざって時は、
他電力からの融
通枠も数百万キ
ロワットあるよ。

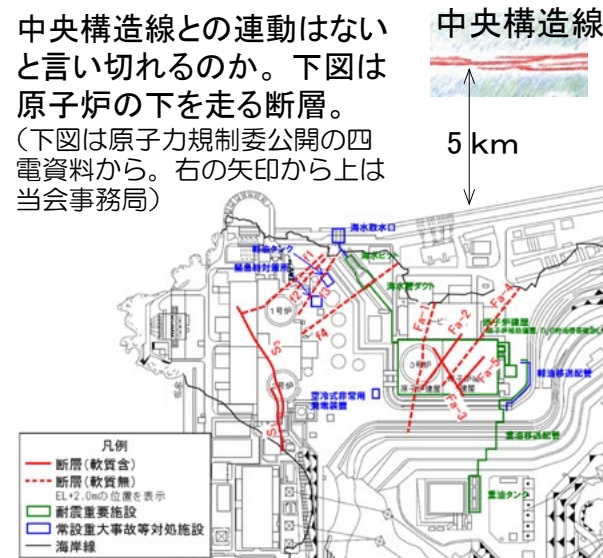


行き場のない 使用済み核燃料を増やす再稼働



原子炉直下の断層は 連動しないのか

中央構造線との連動はない
と言い切れるのか。下図は
原子炉の下を走る断層。
(下図は原子力規制委公開の四
電資料から。右の矢印から上は
当会事務局)



CO₂が2年連続横ばいに 再生可能エネルギーが理由

世界の経済が成長したのに、長年
増加傾向だったCO₂が横ばいに。
理由は再生可能エネルギーの拡大
です (IEA: 国際エネルギー機関)。
風力発電は2015年末までの1年間で
17%増加。(世界風力エネルギー
会議) それぞれ2016年3月と2月
に報道される。



中村知事



中村知事、
ドイツの太陽光
が「数パーセン
ト」と強調して、
再生可能エネル
ギーの展望が
ないみたいと言
うのはダメです
よ！

地盤が弱い

中村知事
(2015/10/26)



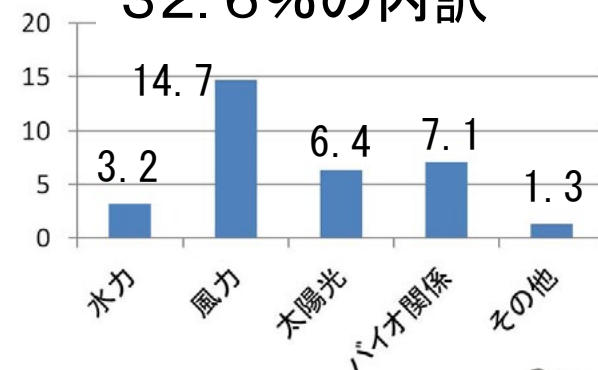
伊方町の土砂
災害特別警戒
区域は1994
力所も！
(愛媛県の資料から)

1号炉訴訟時に裁判所が依頼した地盤の
「鑑定書」(生越鑑定書)でも、トンネル工事
のベテランからも「地盤はもろく弱い！」
と指摘されている。

原発なしの世界へ

ドイツの2015年の発電電力量の
約32.6%は再生可能エネルギー
(ドイツ連邦・経済エネルギー省2016年2月発表)
ドイツは2022年 原発ゼロ政策

ドイツの再生可能エネルギー 32.6%の内訳



「(知事のように) 理解に“混乱”
が見られるのは残念。数値を見
れば本当のところは明らかなの
に。」(ドイツ原子炉安全委員会のク
リストフ・ピストナーさんから)



基準地震動が650ガル ではあまりに小さすぎ！



地震が心配！

熊本地震では
震源が近い地震の
被害の深刻さが
明らかになりました。

家が倒壊、余震も続発
屋外に避難し続ける
たくさんの人たち…

放射能が来るから
屋内退避と言われて
倒壊が心配な家に
逃げ込めるでしょうか。

地震・津波は
とめられないけれど
伊方原発の再稼働は
とめられます。

いっしょに、ふるさとと
子どもたちを守りましょう！



【伊方原発をとめる会とは】

第2版 2016年5月11日
発行：伊方原発をとめる会

イラスト：高木章次、編集：和田幸・高木章次

〒790-0003

愛媛県松山市三番町 5-2-3 ハヤシビル3F

Tel 089-948-9990 Fax 089-948-9991

ホームページ <http://www.ikata-tomeru.jp>

カンパの振込先＝ 郵便振替 01610-9-108485、加入者名 伊方原発をとめる会

●原発に関する講演会、学習会、集会などを開催しています。

●定期的にニュースを発行し、ホームページに情報を掲載しています。

●「伊方原発の運転差し止め訴訟」を支援し、陳述をまとめた冊子も発行しています。

●50万筆に及ぶ署名や申入れも行ってきました。

【無断転載を禁止します】